

簡単 バッグコンポストのご紹介



1袋のウグラン（EMボカシ入り）で1ヶ月程の生ごみを入れ続けられます。



⑥バッグはすのこ等の上に置きます。微生物の力で温度上昇し、生ごみが分解されていきます。出来れば夏は涼しく冬は暖かい場所に置ければベストです！

①お渡ししたセットの中のウグランとEMボカシ1袋ずつをしっかりと混ぜます。これを分解床といいます。

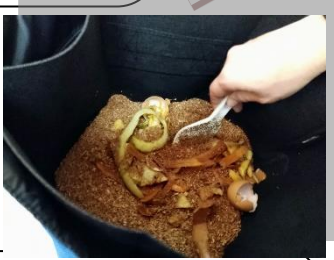
ポイント
湿度が上がりにくい時は又かや、天ぷら油を入れてみよう！



②分解床をフェルトバッグに入れます。

ポイント
フェルトバッグとチャック付バッグの間底に湿気調整で段ボール等を敷こう！

ポイント
生ごみは小さいほど早く分解するし、虫も湧きにくくなるよ！



⑤生ごみに分解床が被るよう混ぜ、次に生ごみを入れるまでは、バッグのチャックをきっちりしめます。毎日④と⑤を繰り返します。



③フェルトバッグをチャック付バッグの中に入れます。



④分解床に生ごみを入れます。野菜くずや食べ残しなど、食べられる物であれば何を入れてもOK

バッグコンポストに入れない方がよいもの

生ごみの一部で固いもの

牛・豚・鶏などの骨
硬い貝殻や多量のアサリ・しじみなど

生ごみ以外のもの

ガラス・陶磁器・金属類
木竹製品
輪ゴム
スチロールトレイ
ポリ袋・ラップなどのシート類
紙
動物のふん